

道徳学習指導略案

第2学年2組 合計 29名

1. 主題名 しっかりとやりぬく心 (A 希望と勇気、努力と強い意志)
2. 教材名 なまけにんじゃ
3. ねらい 自分には心の中の「なまけにんじゃ」に負けたくないという気持ちがあることに気づき、怠け心に勝って自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかり行おうとする態度を養う。
4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問◎主発問・予想される児童の反応)	●指導上の留意点 ◇評価
導入	<p>1. 「なまけにんじゃ」どんなにんじゃであるかを考える。</p> <p>○なまけにんじゃってどんなにんじゃでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なまけてばかりの忍者かな。 ・何もしない忍者かな。 	<p>●「なまけにんじゃ」がどのような忍者であるかを自由に考えさせることで、教材に興味をもたせる。</p>
展開前段	<p>2. 教材「なまけにんじゃ」を読んで考え、話し合う。</p> <p>○なまけにんじゃが出てくるとき、「ぼく」はどんな気持ちになるのでしょうか。</p> <p>〈勉強しているとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しくらいならテレビを見てもいいかな、、、。 ・勉強もしないといけないけど、テレビも見たいな。 <p>〈掃除しているとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面倒だから、やめてしまおう。 ・頼まれている仕事だけど、どうしよう。 <p>◎「ぼく」がなまけにんじゃに消えてほしいと思っているのは、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やらないといけないことがあるのに何ででてくるんだよ！ ・今やらないと後で困るのは自分なんだ！ ・今は集中したいんだ！ 	<p>●「なまけにんじゃ」が出てくるときの「ぼく」の気持ちを考えさせる。やるべき勉強や仕事があると分かっていながらも、怠け心に負けてしまう「ぼく」の気持ちに共感させる。</p> <p>●教師が「なまけにんじゃ」、児童が「ぼく」を演じる。児童の「なまけにんじゃ、消えろ！」の言葉に、「どうして怠けてはいけないのか。」と問い返すことで、怠け心に打ち勝つことの大切さについて気づかせる。</p> <p>◇怠けようとする心に打ち勝とうとする「ぼく」の気持ちを自分ごととして考えることができたか。(役割演技・道徳ノート)</p>
展開後段	<p>3. 自分の経験について振り返り、これからを考える。</p> <p>○自分に出てくるなまけにんじゃをどう退治するか話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題をしているときに友達と遊びたいと思ってしまう。 →今は宿題に集中するぞ！と心に言い聞かせる。 ・おもちゃの後片付けをするように言われたけど、弟がやってくれと思って、そのままにしてしまう。 →自分が言われたことは、責任をもってやらないといけない。 	<p>●「なまけにんじゃ」を消すことができた経験について振り返ったり、自分の経験を友達と共有したりすることで、やるべきことをやり遂げた心地よさについて考えさせる。</p> <p>◇自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うことのよさについて考えを深めることができたか。(道徳ノート・発言)</p>
終末	<p>4. 教師の話聞く。</p> <p>○やるべきことを頑張ってやり遂げた教師の体験を話す。</p>	<p>●教師の体験を聞くことにより、児童の実践意欲を高めたい。</p>